

科目名	財務会計 I	単位数	3	学年	第学年	科	総合ビジネス科
					第3学年		コース
使用教科書	新財務会計 I (実教出版)			副教材	最新段階式簿記検定問題集 1 級会計		

学習の到達目標

1. 財務諸表の作成に関する知識や技術を習得させ、財務会計の意義や制度について理解させる。
2. 財務諸表から得られる会計情報を、ビジネスの諸活動に活用できる能力と態度を育てる。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期	4	第1編 財務会計の基礎 第1章 企業と会計 第2章 企業会計制度と会計法規	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業会計の意味と役割を理解させる。 ○ 財務会計の機能と会計公準の内容について理解させる。 ○ 企業会計制度の意味を理解させる。 ○ 企業会計原則および企業会計基準の役割と内容を明らかにし、一般原則の内容について理解させる。
		第2編 貸借対照表 第3章 貸借対照表のあらまし	
	5	第4章 資産の意味・分類・評価 第5章 流動資産 当座資産 (中間試験)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 財務諸表の種類を明らかにする。 ○ これから学ぶ貸借対照表の役割や区分表示、様式など、その概略について理解させる。 ○ 貸借対照表の項目である資産・負債・純資産について学習することを明らかにする。 ○ 資産の意味・分類を理解させる。 ○ 資産評価の意味・基準を明らかにし、その重要性を理解させる。
		第6章 流動資産 棚卸資産・その他の流動資産	
	6	第7章 固定資産 有形固定資産	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当座資産の意味と種類を明らかにする。 ○ 現金預金・受取手形・売掛金・有価証券の評価と記帳方法について理解させる。 ○ 棚卸資産の意味と種類を明らかにする。 ○ 棚卸資産の取得原価と費用配分の原則について理解させる。 ○ 棚卸資産の払出価額と期末棚卸高の計算方法を理解させる。 ○ 商品評価損・棚卸減耗費の意味とその処理法及び記帳法を習熟させる。 ○ 売価還元法を理解させる。
		第8章 固定資産 無形固定資産	
		第9章 固定資産 投資その他の資産 (期末試験)	
二 学 期	9	第10章 負債の意味と分類	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有形固定資産の期末評価を理解させる。 ○ 減価償却の意味を明らかにし、計算方法に習熟させる。 ○ 固定資産の除却と買い換えの記帳方法に習熟させる。 ○ 無形固定資産の意味と種類を明らかにする。 ○ 無形固定資産の取得原価に触れ、特にのれんに関する計算と記帳に習熟させる。 ○ 無形固定資産の期末評価について理解させる。 ○ 投資その他の資産の意味と種類を明らかにする。 ○ 投資有価証券の期末評価について理解させ、その記帳に習熟させる。
		第11章 流動負債 第12章 固定負債 (中間試験)	
	10	第13章 純資産の意味と分類	<ul style="list-style-type: none"> ○ 負債の意味と分類を明らかにし、分類基準を理解させる。 ○ 流動負債の意味と種類を明らかにする。 ○ 引当金の意味を明らかにし、役員賞与引当金の記帳について理解をはかる。 ○ 固定負債の意味を明らかにし、その記帳に習熟させる。 ○ 長期借入金・退職給付引当金の記帳に習熟させる。 ○ 純資産の意味と分類を明らかにする。 ○ 株主資本とそれ以外の区分の概要を理解させる。
		第14章 資本金 第15章 資本剰余金 第16章 利益剰余金 第17章 自己株式 第18章 貸借対照表の作成 (期末試験)	
11	第3編 損益計算書 第19章 損益計算書のあらまし 第20章 損益計算の意味と基準 第21章 売上高	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資本金の増加・減少の処理方法に習熟させる。 ○ 資本剰余金の意味と分類を明らかにする。 ○ 資本準備金とその他資本剰余金に関する処理方法に習熟させる。 ○ 会社の合併の意味と記帳法に習熟させる。 ○ 利益剰余金の意味と分類を明らかにする。 ○ 利益準備金、任意積立金に関する基本的な記帳法を理解させる。 ○ 剰余金の配当の意味と記帳法について理解させる。 ○ 棚卸法と誘導法を理解させる。 ○ 貸借対照表作成上の原則や注記などについて理解させる。 ○ 貸借対照表の作成について、会社計算規則による場合を中心に習熟させる。 	

		第 22 章 売上原価, 販売費及び一般管理費 第 23 章 営業外収益・営業外費用 第 24 章 特別利益・特別損失	<ul style="list-style-type: none"> ○ 損益計算書の役割・区分・様式など, その概略を明らかにする。 ○ 損益計算の意味を明らかにし, 収益・費用の認識および測定基準, さらに, 費用収益対応の原則について理解させる。 ○ 売上高を計上する基準について理解させ, 記帳や計算などに習熟させる。 ○ 工事収益の計算と記帳に習熟させる。 ○ 売上原価の意味と販売費及び一般管理費の種類について整理する。 ○ 営業外収益・営業外費用の意味・種類を明らかにする。 ○ 経常利益・経常損失の意味を明らかにする。 ○ 特別利益・特別損失の意味・種類を理解させる。 ○ 損益計算書の税引前当期純利益から下の表示について理解させる。
三 学 期	1	第 25 章 損益計算書の作成 (卒業試験)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 損益計算書作成上の原則や注記などを理解させる。 ○ 損益計算書の作成について, 会社計算規則による場合を中心に習熟させる。

学習評価

<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期試験・小テスト・課題の提出状況・授業態度などを総合的に評価する。 2. 検定試験の受験状況
